

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ

 コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 文彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小林 繁之

TEL 03-5411-7222

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	848	△11.9	42	△46.4	47	△42.7	12	△78.3
26年6月期第2四半期	962	△10.2	79	32.9	82	33.3	59	123.9

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 12百万円 (△78.3%) 26年6月期第2四半期 59百万円 (83.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	1.16	—
26年6月期第2四半期	5.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年6月期第2四半期	1,476	63.53	708	63.53	48.0	63.53
26年6月期	1,488	65.37	728	65.37	49.0	65.37

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 708百万円 26年6月期 728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	△5.2	80	△32.6	86	△30.9	45	△43.3	4.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	11,332,100 株	26年6月期	11,332,100 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	186,148 株	26年6月期	186,148 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	11,145,952 株	26年6月期2Q	11,145,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により、輸出関連企業を中心に業績が大幅に回復している企業もある一方で、サービス業を担う中小企業においては、円安による輸入コストの増加や人手不足などにより引き続き厳しい状況が続いております。また、各国、各地域の中央銀行による金融政策が、為替の変動に大きなインパクトを与えており、昨今の原油安の影響やギリシャ危機の再燃とともに、国内経済や消費に与える影響も軽視できない状況になってきております。

当社グループが属する美容業界におきましても、実質賃金が依然として上昇に転じていないことや、消費税増税と円安の影響による輸入物価の上昇傾向が、顧客の節約志向を強め、来店サイクルを鈍化させて、売上高の伸びを抑えているものと思われまます。

そのため当社グループにおきましても、客単価は微増しているものの来店客数が減少したため既存店の売上高が減少し、平成29年4月に予定されている消費税の再増税も控えて、引き続き厳しい環境に置かれることが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、安易な安売り競争に走ることなく、従来通り優秀なスタッフを育成し、質の高いサービスを提供し続けることにより、顧客の支持を得て安定した業績を維持しておりますが、来店客数の本格的な回復には至っておりません。また、当第2四半期連結累計期間に予定していた店舗設備リースングプランによるBS店(FC店)の出店が第3四半期以降にずれ込んだため、リース売上高の計上がなくなったことも影響し、当社グループの主力事業である直営サロン運営事業及びBSサロン運営事業の売上高は、前年同期に比較して減収となり、売上総利益も僅かながら減少いたしました。

一方で、新規事業におきましては、当社の創造性を活かしたブライダルサロンの展開や、サロンPOSシステムの提供等に引き続き注力しておりますが、主に営業人員の増員により、人件費を中心に販売費及び一般管理費の増加が先行したため、営業利益は減益となりました。

また、実質賃金の大幅な上昇や消費の早期回復が見込まれないため、当初の連結業績予想を達成することは困難と判断し、通期の連結業績予想を修正することといたしました。そのため、繰延税金資産の計算において、見積り所得額が大幅に減少することとなり、法人税等調整額が発生したため、四半期純利益は大幅な減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高848,275千円(前年同期比11.9%減)、営業利益42,493千円(前年同期比46.4%減)、経常利益47,216千円(前年同期比42.7%減)、四半期純利益は、法人税等調整額25,453千円の発生の影響により、12,886千円(前年同期比78.3%減)となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン(フランチャイズサロン)のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン12店舗を展開しております。

第1四半期連結会計期間より、ブライダルサロンであるモッズ・ヘア オン アンダーズ東京は直営サロン運営事業よりヘアメイク事業にセグメントを変更し、準直営サロンであったモッズ・ヘア青葉台店は契約形態の変更によりBSサロンへ転換いたしました。また、不採算店であったモッズ・ヘア渋谷店を閉店し、新たに神奈川県横浜市にモッズ・ヘアみなとみらい店をオープンいたしました。

直営サロン運営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、489,348千円(前年同期比10.4%減)、セグメント利益は、5,304千円(前年同期比68.3%減)となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第2四半期連結累計期間において、国内におきましては、新規出店が1店舗(モッズ・ヘア十勝音更店)、準直営サロンからの転換が1店舗(モッズ・ヘア青葉台店)、閉店が1店舗(モッズ・ヘア社店)となりました。海外におきましては台湾において1店舗(モッズ・ヘア中山店)を新規出店いたしました。韓国において3店舗を閉店いたしました。その結果、当第2四半期会計期間末日現在において、国内71店舗、韓国20店舗、台湾5店舗の計96店舗となっております。

B Sサロン運営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、290,545千円（前年同期比17.0%減）、セグメント利益は、129,526千円（前年同期比16.9%減）となりました。

（ヘアメイク事業）

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間3,000ページ以上を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどのアイデアソースとしても重要な役割を担っております。

また、前連結会計年度より当社のヘアメイクチームのクオリティを一般顧客に提供することを目的にブライダル事業を展開しております。平成26年6月にオープンしたモッズ・ヘア オン アンダーズ東京は、当社グループが展開する初めてのブライダルサロンであります。一般の美容売上よりもブライダルに係る売上の割合が高いため、第1四半期連結会計期間より直営サロン運営事業からヘアメイク事業へセグメントを変更しております。

モッズ・ヘア オン アンダーズ東京のオープンにより前年同期と比較して売上高は増加いたしました。しかしながら、収益貢献できるまでには至っており、セグメント利益は減益となりました。

ヘアメイク事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、107,357千円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は、5,296千円（前年同期比33.0%減）となりました。

（美容室支援事業）

当社グループでは、国内84店舗を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、クレジット手数料軽減サービスを一般のサロンに提供する美容室支援事業などを行っております。

また、前連結会計年度より、美容室サロン経営に特化したPOS・経営分析システムの共同開発及び販売事業を行っております。現在のところ直営サロン及びB Sサロンのみでの展開となっておりますが、当期中に一般のサロンに展開していく予定であります。なお、美容室支援事業は、前連結会計年度までその他のセグメントに含めておりましたが、業績も順調に拡大していることから、第1四半期連結会計期間より独立したセグメントとして表示しております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数、取扱高は引き続き順調に伸びており、美容室支援事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、34,629千円（前年同期比40.6%増）、セグメント利益は、13,939千円（前年同期比79.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11,616千円減少し、1,476,575千円となりました。主な要因としましては、現預金の減少19,928千円、未収入金の増加40,663千円、繰延税金資産の減少23,028千円、及び差入保証金の減少8,781千円などによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8,913千円増加し、768,492千円となりました。主な要因としましては、買掛金の増加14,669千円、未払費用の減少5,965千円、未払法人税等の減少4,372千円、及び未払消費税等の増加5,241千円などによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ20,529千円減少し、708,082千円となりました。主な要因としましては、四半期純利益12,886千円、配当金の支払33,437千円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の業績予想は、平成26年8月15日付「平成26年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日（平成27年2月12日）公表いたしました「平成27年6月期第2四半期（累計）連結業績予測値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,249	337,321
売掛金	103,199	111,907
商品	56,528	57,304
未収入金	349,703	390,366
繰延税金資産	50,149	27,120
その他	62,097	58,579
貸倒引当金	△1,746	△10,271
流動資産合計	977,181	972,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	336,405	336,687
減価償却累計額	△196,564	△195,278
建物及び構築物(純額)	139,840	141,409
工具、器具及び備品	101,125	103,982
減価償却累計額	△76,258	△77,224
工具、器具及び備品(純額)	24,867	26,757
その他	1,162	1,162
減価償却累計額	△246	△280
その他(純額)	915	882
有形固定資産合計	165,623	169,049
無形固定資産		
のれん	975	487
その他	4,578	4,715
無形固定資産合計	5,554	5,202
投資その他の資産		
投資有価証券	5,994	6,015
関係会社株式	15,404	15,404
差入保証金	180,940	172,158
リース投資資産	106,815	100,261
繰延税金資産	2,425	-
その他	30,322	36,652
貸倒引当金	△2,070	△500
投資その他の資産合計	339,832	329,992
固定資産合計	511,010	504,245
資産合計	1,488,191	1,476,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,826	25,495
未払金	474,124	477,385
未払費用	46,425	40,460
未払法人税等	10,522	6,149
未払消費税等	12,186	17,428
その他	29,735	26,212
流動負債合計	583,821	593,132
固定負債		
長期末払金	38,555	38,174
受入保証金	130,240	130,240
資産除去債務	6,868	6,887
その他	94	58
固定負債合計	175,758	175,360
負債合計	759,579	768,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	104,614
利益剰余金	149,536	128,984
自己株式	△25,751	△25,751
株主資本合計	728,400	707,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212	233
その他の包括利益累計額合計	212	233
純資産合計	728,612	708,082
負債純資産合計	1,488,191	1,476,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	962,620	848,275
売上原価	695,653	590,091
売上総利益	266,966	258,183
販売費及び一般管理費	187,713	215,690
営業利益	79,252	42,493
営業外収益		
受取利息	16	22
為替差益	918	2,386
貸倒引当金戻入額	-	1,570
保険解約返戻金	1,661	-
その他	530	743
営業外収益合計	3,128	4,723
経常利益	82,380	47,216
特別利益		
固定資産売却益	32	-
特別利益合計	32	-
特別損失		
投資有価証券評価損	5,972	-
固定資産売却損	21	-
店舗閉鎖損失	7,952	2,378
特別損失合計	13,946	2,378
税金等調整前四半期純利益	68,467	44,838
法人税、住民税及び事業税	7,944	6,498
法人税等調整額	1,024	25,453
法人税等合計	8,969	31,952
少数株主損益調整前四半期純利益	59,498	12,886
四半期純利益	59,498	12,886

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,498	12,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	21
その他の包括利益合計	53	21
四半期包括利益	59,551	12,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,551	12,908
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68,467	44,838
減価償却費	13,543	17,418
のれん償却額	487	487
店舗閉鎖損失	7,952	2,378
貸倒引当金の増減額(△は減少)	715	6,954
受取利息及び受取配当金	△16	△22
投資有価証券評価損益(△は益)	5,972	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△11	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,511	△15,040
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,935	△776
仕入債務の増減額(△は減少)	4,788	14,669
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,679	10,724
リース投資資産の増減額(△は増加)	△17,193	6,927
その他	△22,555	△43,289
小計	61,918	45,268
利息及び配当金の受取額	16	22
法人税等の支払額	△11,517	△10,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,418	34,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,594	△18,543
有形固定資産の売却による収入	451	-
差入保証金の差入による支出	△3,531	△6,400
差入保証金の回収による収入	4,320	14,600
貸付けによる支出	-	△10,700
その他	159	△681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,194	△21,725
財務活動によるキャッシュ・フロー		
割賦債務の返済による支出	△92	-
配当金の支払額	△27,707	△33,231
自己株式の取得による支出	△13	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,812	△33,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	215	608
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△50,373	△19,928
現金及び現金同等物の期首残高	309,086	357,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	258,712	337,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B S サロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	545,950	350,019	97,881	24,626	1,018,748	△55,858	962,620
セグメント利益	16,728	155,940	7,902	7,786	188,357	△109,104	79,252

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,104千円には、棚卸資産の調整額424千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,529千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B S サロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	489,348	290,545	107,357	34,629	921,881	△73,605	848,275
セグメント利益	5,304	129,526	5,296	13,939	154,067	△111,573	42,493

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,573千円には、棚卸資産の調整額△104千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,468千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「美容室支援事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。